

## 記入例：フランスの裁判所で離婚(日本国籍と外国籍)

## 離婚届

令和 年 月 日 届出

大使  
総領事 殿氏名は日本の戸籍に記載  
されているとおりに記入。フランス方式で  
離婚された場合、  
用紙右側の証人  
欄は記入不要。外国人は西暦、日本人  
は和暦で記入。

パリ市以外は県名も記入。

(フリガナ)		夫		妻	
(1) 氏名	氏名	シュネデール マルクオリヴィエ	ガイム	ハナコ	
生年月日		1990年4月3日	外務	花子	
住所		フランス国セーヌサントニ県 モントルイユ市ジャンジョレス広場 1番地	フランス国パリ市第8区オッシュ 大通り7番地		
(2) 本籍		東京都千代田区霞が関2丁目2番地			
(夫または妻が 外国人のときは その国籍)	筆頭者の 氏名	外務 花子	( <input checked="" type="checkbox"/> 夫 <input type="checkbox"/> 妻)の国籍	フランス国	
父母及び養父母 の氏名 父母との続柄 (右記の養父母以外に 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください)	夫の父 母	シュネデール、トマポールルネ ベネック、ニコールアンヌ	続き柄 長男	妻の父 母	外務 太郎 良子
(3) 離婚の種別	<input type="checkbox"/> 通常夫婦別姓。 <input type="checkbox"/> 調停 <input type="checkbox"/> 審判 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/> 請求の <input checked="" type="checkbox"/> 判決	本籍地はハイフン(-)等を使わず戸籍の通りに。 ×霞が関2-2 ○霞が関2丁目2番地			
(4) 婚姻前の氏に もどる者の本籍	<input type="checkbox"/> 夫は <input type="checkbox"/> 妻は	<input type="checkbox"/> もとの戸籍にもどる <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる			
(5) 未成年の子の氏名	夫が親権 を行う子	マノン恵	妻が親権 を行う子	マノン恵	
(6) 同居の期間	(同居を始めたとき)	平成30年1月から	(別居したとき)	令和6年3月まで	
(7) 別居する前の住所		フランス国パリ市第8区オッシュ大通り7番地			
(8) 別居する前の世帯 の主な仕事と	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤務者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤務者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者の世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯				
(9) 夫婦の職業	(国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出をするときだけ書いてください)				
(10) 夫の職業	妻の職業				
その他	令和7年1月4日フランス国パリ司法裁判所において離婚の裁判判決確定。 同裁判所発行の離婚判決謄本添付。				
届出人署名 (※押印は任意)	夫	外務 花子			印

(届出人の連絡先及び電話番号)

06-1234-5678

戸籍に記載されている  
とおりに日本語で署名。